

# ヘルスケアパスポート 運用マニュアル案(紀洋会モデル)

## 1. 目的

要介護高齢者や重症疾患(心不全・呼吸器・悪性疾患等)の患者に対し、多職種間でタイムリーな情報共有を行い、\*\*「本人の意思に基づいた、重複のない、かつ効率的な医療・介護」\*\*を提供することを目的とします。

## 2. 対象者

- 要介護高齢者
- 慢性心不全、慢性呼吸器疾患、悪性疾患などで予後不良と考えられる方
- その他、多職種連携による頻繁な情報共有が必要な方
- 人生の最終段階におけるACP登録を希望するひと

## 3. アカウント登録フロー

状況に合わせて、以下のいずれかの方法で登録を行います。

パターン	登録方法	管理権限の移行
A: 本人・家族管理	本人または家族のスマホでアプリをインストールし登録。	当初より本人・家族が管理。
B: 代行管理	医師・組織管理者が業務用スマホで代行登録。	準備が整い次第、本人・家族のスマホへ管理権限を委譲。

## 4. 情報共有の方法(PDFアップロード)

以下の書類をPDF化し、ヘルスケアパスポート内の\*\*「施設からのお知らせ」\*\*機能へ登録します。

### 共有すべき項目

- 意思決定: 延命医療に関する意向、サービス介入指示
- サマリー: 看護サマリー、薬剤管理サマリー、リハビリサマリー
- 計画・報告: 介護保険サービスで義務化されている各種計画書および報告書

### PDF登録時のルール

- ファイル名: 20260216\_リハ計画書\_氏名 のように「日付+内容」を明記。
- 更新時: 最新の書類をアップロードし、関係職種が常に最新情報にアクセスできるようにします。

## 5. ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の登録

本人の意向を尊重するため、以下のいずれかの方法で登録を支援します。

1. 聞き取りによる代行入力: 看護師、ケアマネ、介護士が本人から意向を聞き取り、代行して登録する。
2. ノートのデータ化: 「私の大事をつなぐノート」の該当ページをスキャンし、PDFファイルとして「施設からのお知らせ」に登録する。

## 6. 運用の留意点

- 閲覧範囲の確認: 登録時、情報の共有範囲(どの事業所まで見せるか)について本人・家族の同意を再確認してください。
- セキュリティ: 代行管理を行う業務用スマホは、端末ロック等のセキュリティ対策を徹底してください。